

JR阪和線連続立体交差事業の整備効果アピール資料

12箇所の踏切除却

(工事中に廃止した1箇所以外はすべて「開かずの踏切」)



事業概要

事業名:大阪都市計画都市高速鉄道
JR阪和線連続立体交差事業
事業箇所:大阪市阿倍野区文の里四丁目
~ 大阪市住吉区杉本三丁目
踏切除却数:12箇所
事業延長:4,860m
総事業費:約800億円
事業期間:昭和58年度~平成19年度
(平成18年5月21日 全線高架切替済)

交通量調査結果

供用前 平成11年 7月
供用後 平成18年10月
【自動車交通量】
大阪港八尾線: 14,666 16,966台/12h
大阪高石線: 18,654 20,270台/12h
国道479号: 15,391 18,741台/12h
大和川北岸線: 2,194 7,226台/12h

幹線道路の機能回復
(踏切除却による)

「踏切除却による整備効果」

踏切交通遮断量の減少

大阪市域全踏切 約380万台・時/日
JR阪和線 約100万台・時/日

約1/4減少 全国ワースト10の3踏切を除却

旅行速度の向上

国道479号() 12.5Km/h **23.9Km/h**

道路機能の回復

幹線道路() 509百台/12h **632百台/12h(増加)**
生活道路(上記以外) 213百台/12h **142百台/12h(減少)**

幹線道路踏切の渋滞を避けていた迂回交通が回復

環境の改善(推計値)

全国ワースト10の3踏切を除却することによるCO2削減量

年間約2,600t **甲子園球場の約60個分の森林面積に相当する。**

国道479号



事業前



事業後

全国ワースト10の3踏切
幹線道路

事業前写真



事業後写真

平成20年1月撮影



平成19年12月撮影

平成20年1月撮影

